

# 誰もが声をあげられる社会に

憲法のつどいに脚本家の吉田恵里香さん



5月25日、総合文化芸術センターで開催の憲法のつどいで、ドラマ『虎に翼』の脚本家・吉田恵里香さんが講演しました。作品をきっかけに気軽に憲法を話題にしてほしいとし、「おかしいなと感じた時に誰もが声をあげられる社会になれば」と訴えました。市内在住の高村優希さん(29歳)は「吉田さんの話を聴き、まず自分にできることを考え行動していきたい」と話しました。また枚方第二小学校6年生が憲法前文と、同作で鍵となった「法の下の特等」を規定する14条を力強く朗読しました。

## まろちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介!

# 経験を生かしさらなる社会貢献を

3人がボーイスカウト最高位受章



ボーイスカウト最高位の富士スカウト章を受章したローバー隊の池口純礼さん(写真右)、ベンチャー隊の小西礼さん(同中)・井藤健吾さん(同左)が、5月25日、市長に報告をしました。同章は野外活動などを通じ、奉仕の精神と社会の一員としての責任を持ち、社会貢献を果たせるリーダーの資質を身に付けた人に贈られるもの。幼少期からスカウト経験を積んできた3人は、「これまでの経験を生かし、地域や社会に役立つ活動を広げていきたい」と語りました。

同章は野外活動などを通じ、奉仕の精神と社会の一員としての責任を持ち、社会貢献を果たせるリーダーの資質を身に付けた人に贈られるもの。幼少期からスカウト経験を積んできた3人は、「これまでの経験を生かし、地域や社会に役立つ活動を広げていきたい」と語りました。

▶1975年冬、4歳。枚方市駅南口のバス停で母と弟と。1975年4月に開業した「ひらかた丸物」看板が写り込んでいます。77年5月に近鉄百貨店に改称されたので、貴重な一枚と言えるかもしれません。



◀1974年春、2歳。ひらかたパークでマジングーZのディスプレイ前で母と一緒に。



◀1975年夏、3歳。茄子作住宅でお気に入りの自転車。

## 枚方市とのご縁は宝物

誕生から就学前まで茄子作住宅で過ごし、勝山愛和香里ヶ丘幼稚園に通っていました。枚方三越の前も温かな思い出として心に残っています。そのご縁は、遠く離れたパキスタンでも不思議とつながっています。取材でパキスタンを訪れた方が幼稚園の先輩だったり、日本入学生校の先生と新香里院や谷口医院の話で盛り上がったが、KOHYOになりまして「とくが、O.H.Y.O.にいたり。海外にいても、枚方の存在を身近に感じる機会がたびたびあります。このたびは、枚方市のアフター万博事業を通じて、パキスタンのヒマラヤ岩塩を寄贈させていたのだ。機会にも恵まれました。幼い頃の思い出から、現在の国際交流へ。枚方市のご縁は、私にとってもかけがえのない宝物です。(施設名は全て当時のものです)

# 枚方思い出の1コマ

ひらかたかぞく

# 家族

枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語ります。

第82回 しらい まりこ 白井 真理子さん



コックス&キングス・パキスタン取締役統括マネージャー。旅行手配・取材コーディネーション・要人現地視察・災害時の自衛隊派遣後方支援業務などに携わってきた。2025年大阪・関西万博ではパキスタン政府と連携しパキスタンパビリオンの運営に従事。大阪外国語大学(現・大阪大学)で日本語教育を学んだ経験を生かし、2014年より継承語教育サークル「イスラマバード日本語クラブ」の代表も務める。

## 編集後記

普段から階段を使うようにしていたつもりでしたが、担当課との打ち合わせで「階段は良い運動になりますよ」と勧め

られた翌日、通勤時の駅で無意識にエスカレーターに乗っている自分に気が付きました。これからは階段を使います。



編集者 M